

# 「ゆきのした史料館」移転へ



移転先を探すことになった「ゆき

開設は2001年だが、保存品は戦前戦後の音楽・演劇・美術・教育・郷土史と多岐にわたる。運営する「ゆきのした文化協会」の前身は、詩人中野鈴子らが1949年につくった新日本文学会福井支部。以来60年以上つづく文化活動が蓄積されている。中野重治や安部公房も寄稿した会報「ゆきのした」は昨年12月で467号を数

## 老朽化、春に実行委結成

福井の空襲や大地震の記録を保存する「ゆきのした史料館」（坂井市丸岡町里丸岡一丁目）が、建物の老朽化を理由に引越すことになった。これを機に2万点とされる資料を整理して使いやすくする方法を考えたり、移転先を探したりする存続運動実行委員会（仮称）が春に結成される。

# 福井の宝 守り続ける

えた。

## 人々の息づかい

史料館の意義を際立たせているのは、民衆の視点からの収集を徹底した点だ。60年代からの福井空襲記録運動や90年代の反戦平和の取り組みが、全国各地の空襲記録の受け入れ、召集令状など実物資料の収蔵につながった。手回し蓄音機や炭火アイロンなど人々の息づかいを伝える現物、反原発運動・サークル活動・労働争議・街づくりの記録も多く、研究者から「宝の山」といわれる。これらは戦後ながらく会員や支援者宅を転々としてきた。

## 3年後を目標に

3年後がめどこの移転に備えて移転先や維持費の確保、新史料館の役割を話し合う実行委についで「ゆきのした文化協会」



ゆきのした史料館の内部。戦後すぐに造られた細幅織物工場の名残が天井の交いに見える

## 「DBB化」も検討

工場の建造から63年が経った昨年、栗田さんの親族から「老朽化のため壊したい」と話があった。協会代表の田島伸浩さん(73)「あわら市」らが対応を話し合い①全国の市民との交流が続く史料館は移転・存続させ②協会による文化運動の再活性化と連動させる——と決めた。あわせてデータベース化を進める。会員歴半世紀以上で資料の整理を担う田島さんでさえ「2万点と言われているが正確な数は誰も分からない」という状況だからだ。おおまかな内容をつかんでいるのは田島さんだけ。「私に方が一のことがあれば把握できる人がいなくなってしまう」

## 悲しみ

（氏名、亡くなった日、年齢、自宅、通夜・葬儀の日時と場所、喪主の順）

### 【福井市】

横山一郎さん 11日、92歳。左内町3の20。長男、英雄さん。通夜・葬儀は近親者で営みました。

藤井篤子さん 11日、86歳。順化2の4の12。長男、憲一さん。通夜・葬儀は近親者で営みました。

玉村才市さん 12日、92歳。花堂中2の29の27。通夜14日18時、葬儀15日10時、花堂南のアスピカホール花堂。次男、英二さん。

小寺敏行さん 12日、80歳。中藤新保町11の15の1。通夜14日18時、葬儀15日10時、文京のアスピカホール文京。長男、敏朗さん。

佐竹文子さん 13日、94歳。足羽2の5の25。通夜14日18時、葬儀15日10時、西木田の西木田合掌会館。長女の夫、澤井静さん。

杉本みゆ子さん 13日、87歳。角折町21の51の1。通夜14日18時、葬儀15日10時、西谷の西谷合掌会館。長男、優地さん。

### 【敦賀市】

吉田賢二さん 11日、82歳。市野々13の4の15。通夜15日18時、葬儀16日10時、昭和町のアスピカホール敦賀。長男、英雄さん。

松下と志さん 13日、91歳。川崎町5の27。通夜15日18時、葬儀16日11時、古田町のハートホール橋詰。長男、良一さん。

北川 昭治さん（きたがわ・しようじ）元県議会議長）10日死去、86歳。葬儀は近親者で営んだ。自宅はあわら市温泉5の20。喪主は長男賢文（よしふみ）さん。